

令和6年度第4回川口市朝日環境センター施設整備審議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年12月17日(火)
午後2時00分～午後2時50分まで
- 2 会場 リサイクルプラザ棟4階研修室
- 3 出席委員 (1) 川口市朝日環境センター施設整備審議会委員：13名
市民 : 大谷委員、大塚委員
学識経験者 : 八鍬会長、藤原副会長、橋詰委員
民間団体からの選出者：小林委員、林委員、藤田委員、中原委員、
浅羽委員、中村委員、上倉委員、今井委員

(2) 事務局：15名
須藤環境部長、佐藤資源循環課長、岩田環境施設課長、
平山朝日環境センター所長、片岡リサイクルプラザ所長、
塚平鳩ヶ谷衛生センター所長 他5名
公益社団法人全国都市清掃会議 米村技術部課長、
パンフィックコンサルタンツ株式会社 山崎技術課長 他2名
- 4 欠席委員 2名 田中委員、石川委員
- 5 傍聴人 5名
- 6 議事等 議事
(1) 事業方式について
 - ・ 検討対象とする事業方式について
 - ・ 費用に関する評価(定量的評価)の実施方法について
 - ・ 費用以外に関する評価(定性的評価)の実施方法について

7 審議会議事録

1 開会	
2 議事	
(1) 事業方式について ・検討対象とする事業方式について	
事務局	資料1「検討対象とする事業方式について」に基づき説明。
委員	異議なし。
(1) 事業方式について ・費用に関する評価（定量的評価）の実施方法について	
事務局	資料2「費用に関する評価（定量的評価）の実施方法について」に基づき説明。
委員	図2・表1で「金利」と記載があるが、PFI方式とDBO方式でかかる金利の性質が違うため、詳しく説明した方がよろしいかと思われる。また、SPC経費について、事業終了後のSPC解散費も見込んだ資料となっているのか。
事務局	ご指摘の通り、PFI方式は起債金利とプロジェクトファイナンスの金利がかかり、DBO方式は起債金利のみとなる。 また、SPC開業準備費等において、事業終了時の費用を見込んでいます。
委員	アンケート調査において、事業終了時におけるSPCの取り扱いについて条件を設定して調査を行っているのか。
事務局	その前提で調査を行っている。
委員	アンケート調査は本事業に対応可能な事業者の調査と、今後の事業方式の検討方針を定める目的で行っていると考えてよろしいか。 また、2028～2029年に事業者選定を予定しているが、現在見積り徴取を行うというのは、大まかな事業費を把握するためであり、事業者選定時に再度見積り徴取を行うと考えてよろしいか。
事務局	お見込みの通り。アンケート調査は本施設の整備事業ができる事業者に対して行っている。また、見積り徴取は概算事業費の算定を目的としており、今後精査していく。
委員	工事費が値上がりしているということを聞いており、今後も見積りが相当高くなることが懸念される。工事費の値上がりについてはどう対応するつもりか。
事務局	現在取得した見積りは大まかな事業費を算定する目的であり、発注前までに再度、調査を行い価格設定していく。

(1) 事業方式について ・費用以外に関する評価（定性的評価）の実施方法について	
事務局	資料3「費用以外に関する評価（定性的評価）の実施方法について」に基づき説明。
委員	今回の規模的には建設費がかなりかかると思われる。PFI方式とそれ以外の方式を選択した際の事業費の支払い方法や資金調達の柔軟性は評価しないのか。
事務局	支払い方法については財政支出の平準化等の部分で評価したいと考えている。また、VFMにも影響するため、定量的評価にて評価できると考えている。
委員	建設費の一部を割賦払いとする説明であったが、全部を割賦払いとする場合と、もしくは一部割賦払いすることもできると思われる。今回はどのように想定しているのか。
事務局	一般財源で充当する部分をプロジェクトファイナンスで資金調達する想定をしている。
委員	先ほどは一般財源部分を全てプロジェクトファイナンスで組むような説明であったが、一般財源の一部をプロジェクトファイナンスとすることも考えられる。その部分はどう整理するのか。
事務局	一般財源部分を全てプロジェクトファイナンスで資金調達を行い一般財源充当する考えである。
委員	定性評価の項目案「Ⅱ エ 施設の長寿命化」は事業方式に関わらず求められる内容なのではないか。また、施設整備に関する基本方針「地球温暖化防止及び省エネルギー・創エネルギーに配慮」において、事業方式によらないと説明があったが、なぜそうなるのか説明いただきたい。
事務局	施設の長寿命化は設計・建設・運営維持管理の一括発注による、将来のメンテナンス性の向上を見込んで評価項目とした。 2点目の質問について、評価項目としない理由としては、市としていずれも達成しなくてはならない内容であり、事業方式によって変化がある項目ではないため評価対象外とした。
委員	省エネルギーについては、事業者に提案をさせる内容ではないのか。
事務局	施設規模をふまえ、目標数値を設定したうえで、公募を行う。その目標値を事業者提案で上回ることができれば、民間のノウハウが発揮されたと考えられる。
委員	「災害発生時に対応できる施設」と記載があるが、どのような施設を想定しているのか。
事務局	災害廃棄物を処理できることに加え、自立運転が可能なことを活かした温浴施設の開放や、電源の提供を行うことも考えている。
委員	資料1に記載されている事例では、事業方式がどのように選定されているのか。今回のように定性評価・定量評価を踏まえた事業方式の選定なのか、市が

	望む事業方式で運営されているのか。
事務局	掲載している事例の多くは川口市と同様に可能性調査を行われていると考えられる。
3 その他	
議長	全体を通して何か意見・質問はあるか。
委員	質問・意見特になし。
議長	他になければ本日の議事を終了とする。
事務局	次回の第4回審議会は、令和7年2月21日（金）14時より、朝日環境センターリサイクルプラザ4階研修室にて開催となる。
4 閉会	

会議の概要については、以上のとおりです。

令和7年2月6日

川口市朝日環境センター施設整備審議会

会 長.....(八鍬会長署名).....

委 員.....(小林委員署名).....